

事業所における自己評価表（公表）

公表：令和3年3月3日

事業所名 八街市立つくし園

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点、改善内容・改善目標
環境・体制整備	①	利用者定員が指導訓練室スペースとの関係で適切であるか	4	2	<ul style="list-style-type: none"> 一斉活動を行う場合には狭く、グループを2つにし、小集団・個別で行っている。 部屋数に余裕があることが望ましいが、状況や内容に応じて工夫して使用している。
	②	職員の配置数は適切であるか	6		
	③	生活空間は本人にわかりやすい環境になっているか。また、情報伝達等への配慮が適切になされているか	5	1	<ul style="list-style-type: none"> ホールを通過してトイレに行くので、気が散ってしまわないようにボードで間仕切りする等工夫している。 情報伝達ツールとして電話と併行してキッズリー（一斉メール）を導入した。
	④	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。子ども達の活動に合わせた空間になっているか	4	2	<ul style="list-style-type: none"> 建物・設備の老朽化の問題は今後の課題である。危険箇所の点検や修繕・撤去等を日々職員で取り入れている。 基本的には何も置かないようにしている。 グループ入れ替え時ごとに消毒・換気する等、衛生面の徹底した管理に配慮している。
業務改善	⑤	保護者等に向け評価表により、保護者等に対して事業の評価を実践するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善に繋げているか。	6		
	⑥	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を事務所の会報やホームページ等で公開しているか	6		
	⑦	職員の資質向上を行うために研修の機会を確保しているか	5	1	<ul style="list-style-type: none"> 今年度はコロナ禍で外部での研修はできなかったが、特別支援学校との視察・情報共有、各々の自学等で資質向上に繋げた。 今後の研修等の形も変わっていくと思うので、積極的に参加していく。
適切な支援	⑧	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で個別支援計画を作成しているか	6		
	⑨	個別支援計画は、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が、適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	6		
	⑩	個別支援計画に沿った支援が行われているか	6		
	⑪	活動プログラムの立案をチームで行っているか	6		<ul style="list-style-type: none"> 活動リーダーが立案し、内容については職員間で相談・連携しながら行っている。
	⑫	活動プログラムが固定化しないように工夫しているか	6		<ul style="list-style-type: none"> 1週間ごとにテーマを決めて、プログラムを立てている。

援 の 提 供	⑬	子どもの状況に応じて個別活動と集団活動を適宜組み合わせ合わせて個別支援計画を作成しているか	6		・集団活動とあわせて、個別指導の必要性がある児に対しては提案するようにしている。
	⑭	支援開始前には職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	6		
	⑮	支援終了後には職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気づいた点等を共有しているか	6		・個々の記録を記入する際、振り返りを行い、療育内容の良かった点や“こうすると良かったね”と共有し、次回への改善や気づきを出し合い、より良い支援に繋がれるように話し合っている。
	⑯	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	6		・個人記録・全体の日誌と記録を取っている。その都度、職員で検証し合い、支援の改善・向上につなげている。
	⑰	定期的にモニタリングを行い、個別支援計画の見直しの必要性を判断しているか	6		
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	⑱	健康増進課・子育て支援課等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか	6		・健康増進課・ことばの教室とのケース会議を実施し、利用者に対しての連携した情報交換・共有、支援を行っている。
	⑲	移行支援として、保育園や認定こども園、幼稚園等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	4	1	・どちらともいえない 1 ・回数は少なかったが、併用先の園との連絡や、訪問を行い、情報共有や、共通理解をはかり、支援につなげている。
	⑳	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	6		・特別支援学校とは、引き継ぎ・学校見学等から支援内容等の情報共有を図ったり、療育・支援のヒントやアイデアを得た。 ・学校教育課による就学相談を行い、就学に向けての保護者の相談の場を設けている。
	㉑	他の児童福祉センターや児童発達支援事業所、発達障害支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	3	2	・どちらともいえない 1 ・今年度は直接の研修や会合はできなかったが、文書や職員を介して情報交換等を行った。コロナ禍の療育についても近隣の事業所の対応等も参考にし、随時検討するようになった。
	㉒	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	6		・モニタリングだけでなく、日々の療育中、その場で良かったことを伝えたり、終わってから「こうしていこうね」と状況を話している。
	㉓	(自立支援)協議会の子ども部会や子育て会議等へ積極的に参加しているか	4	1	・どちらともいえない 1 ・今年度はコロナ禍で会議等中止が多くなり、文書での情報交換となった。オンラインでの会議に向け、体制や職員の研修を取り入れていく。
	㉔	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラムの支援を行っているか	4	2	・家族支援プログラムまでは至っていない。今後の課題である。 ・特別に作成したり支援は行っていないが、日々の療育や関わりの中で支援・対応を行っている。
	㉕	運営規程、利用者負担等について丁寧に説明を行ったか	5	1	・契約時に、丁寧に説明し、理解しているかその場で確認している。

保 護 者 へ の 説 明 責 任 等	②6	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「個別支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から個別支援計画の同意を得ているか	6		・モニタリングで保護者とよく話し合ったことを基に「個別支援計画」を作成し、十分な支援内容の説明を行い、同意を得ている。得られない時には、再度作成するなどしている。
	②7	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	6		・モニタリング以外でも、保護者からの相談がある場合や必要に応じて面談の機会を設けている。
	②8	子どもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申し入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか	6		
	②9	定期的におたより等を発行し活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	6		・隔月ごとの園だより・健康だより・キッズリー・電話連絡にて発信している。必要に応じて行事や啓発事項(感染症関係)等は手紙と合わせ、掲示物としても発信している。
	③0	個人情報の取り扱いに十分注意しているか	6		
	③1	支援が必要な子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	6		・保護者に対し、直接電話や連絡事項等を分かりやすい内容・言葉に変える等の配慮をしている。(特に外国人の保護者)
非 常 時 等 の 対 応	③2	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか	6		・地震・火災・水害の訓練の他、不審者対応訓練を実施している。感染症発症時の対応マニュアルも策定し職員間の周知・保護者への理解に努め、日々の対応も重視している。
	③3	災害発生や感染症拡大時等に、通常の療育が困難な場合を想定したプログラムや支援体制の変更等を職員間で話し合い周知し、保護者への対応を丁寧に行っているか	6		・感染症拡大状況に応じ、療育体制についてその都度会議し検討している。変更事項についての保護者対応は、キッズリーと合わせ電話や口答で丁寧に行っている。・療育内容や時間の短縮が理由で利用を控えている利用者もいるので、保護者の希望も考慮した療育の検討が課題である。
	③4	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	6		年7回、災害の発生をあらゆる想定で計画を立てて行っている。
	③5	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか	6		

心	③⑥	ヒヤリハット事例集を作成して事務所内で共有しているか	2	4	<ul style="list-style-type: none"> ・文書にはしていないが、事例があった場合にはすぐに対処するとともに事務所内に報告・職員間で共有し対応している。 ・小さな気づきも文書にすることで、問題意識として共有でき安全管理の改善につながるので作成していきたい。
	③⑤	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	4	2	<ul style="list-style-type: none"> ・情報があつた場合には職員間で共有し注意して様子を見守る等適切に対応している。 ・今年度は研修会等への参加は自粛したが、自主学習や情報収集からの共有を行っている。

○この「児童発達支援事業所における自己評価結果(公表)」は、事業所全体で行った自己評価です。